特集

# 世代を越えて、未来を創る「加西市総合運動防災公園」

市は、市民の健康増進や生きがいづくりを支援するとともに、南海トラフ地震などの大規模災害に備えて地域防災力の強化を目指しています。既存施設の老朽化という現状を解決するため、陸上競技場と総合体育館を核とした複合施設として、また、広域避難拠点の役割も担う「総合運動防災公園」を整備する計画です。令和13年度の完成を目指しており、今回は、令和7年8月に策定した「基本構想・基本計画」の概要をお知らせします。

詳細はこちら

## 現状　新公園の必要性

### 既存施設の現状

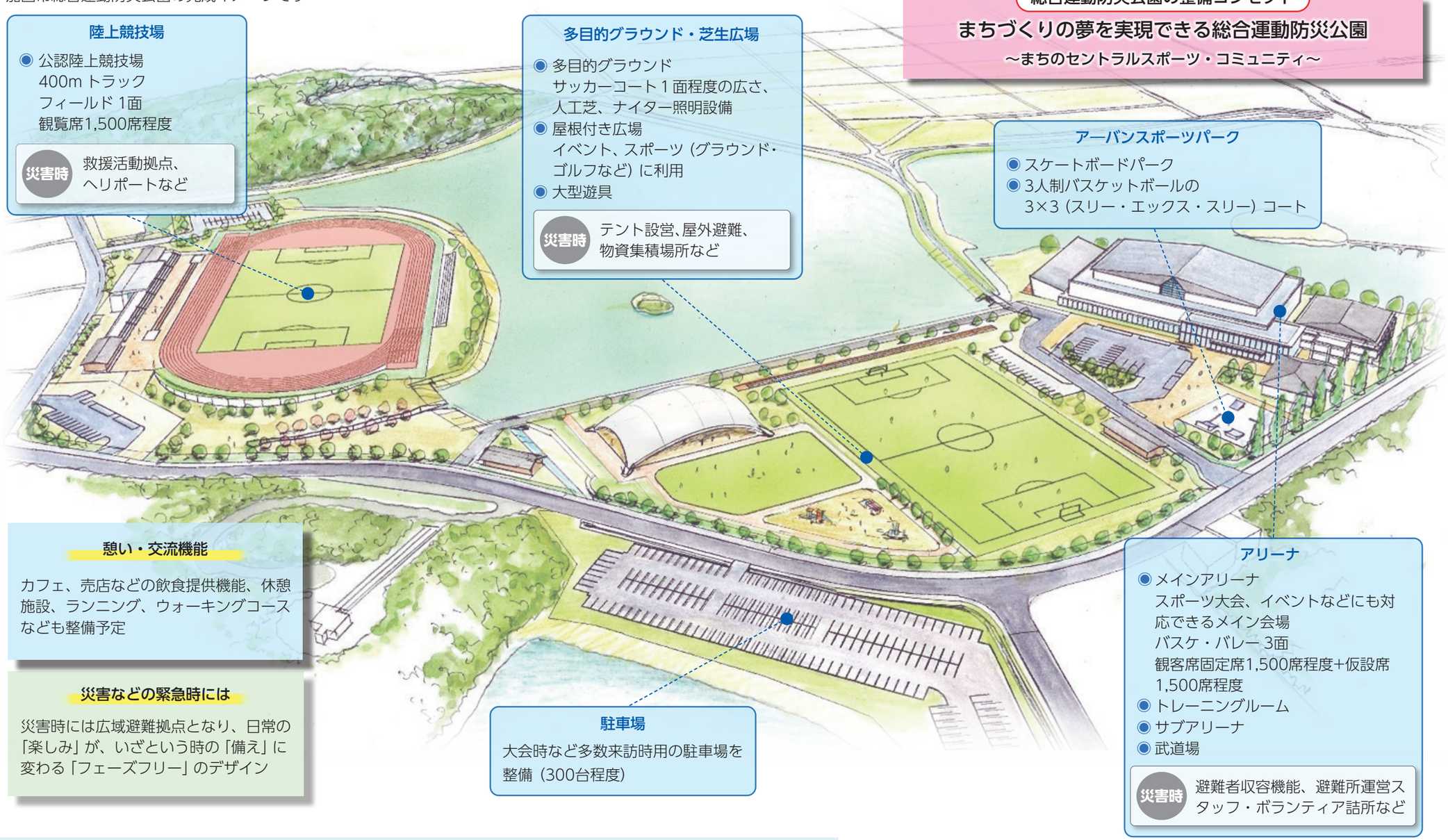
加西勤労者体育センターは築40年以上が経過し、**耐震性の不足**や**空調設備の未整備**など、**施設の老朽化**が深刻な状況です。市民アンケートでは約6割が「運動機会を増やしたい」と回答しており、猛暑でも快適で安全に利用できる環境整備が求められています。

また、**観客席を備えたスポーツ施設が市内にない**ため、広域圏で開催されるスポーツ大会などが**市外で開催**されている状況です。加えて、年齢やジェンダーなどにかかわらず、**誰もが運動やスポーツなどを楽しめる環境**を整えていくことも求められています。

### 地域防災力の強化

総合運動防災公園は、普段はスポーツや憩いの場、災害時には市民の広域避難所や自衛隊、消防の**応援を受け入れる**「広域避難拠点」となり、ヘリポートや物資集積場の機能を備えた防災拠点になります。**「いつもの公園」が「もしもの要（かなめ）」になる安心**は、未来へ引き継ぐ大切な財産です。

加西市総合運動防災公園の完成イメージです




## これまでの流れ

- 1981年（昭和56年）
  市内の主要な体育施設として**「加西勤労者体育センター」完成**
- 1991年（平成3年）
  **「健康ふれあいぱーく・善防」構想策定**、陸上競技場整備を位置づける
- 1994年（平成6年）
  野球・ソフトボールの拠点となる「加西球場」完成
- 2005年（平成17年）
  **「ぜんぼうグリーンパーク」完成**
- 2011年（平成23年）
  第5次加西市総合計画策定、**住民が身近な場所でスポーツに親しめる機会の拡充を位置づける**
- 2014年（平成26年）
  加西市スポーツ推進計画策定、**「しょうがいスポーツ応援都市・KASAI」を掲げ市民スポーツ活動を推進**
- 2021年（令和3年）
  第6次加西市総合計画策定、**総合体育館の整備を正式に位置づける**
- 第2次加西市スポーツ推進計画策定、**多機能型総合体育館の建設に向けた具体的な検討が始まる**
- 2025年（令和7年）
  **「加西市総合運動防災公園基本構想・基本計画」策定**